

東京大学大学院人文社会系研究科 社会心理学研究室
2017年度 修士学位論文

上島 淳史

「分配的正義をめぐる合意形成についての実験的検討」

笠原 伊織

「自由意志信念が量刑判断に及ぼす影響：罰を下す動機に着目して」

黒田 起吏

「信頼と裏切り回避 自他間の資源分配に関する選好と信頼行動の関係」

齋藤 真由

「裁判員裁判に対する認知が司法参加意欲に及ぼす影響 —統治主体意識と統治客体意識に着目して—」

鈴木 啓太

「暗黙理論による課題選択方略の検討 —複数課題場面に着目して—」

吉野 太基

「Does Group Deliberation Improve Sequential Decision Making? (集団討議は逐次的意思決定を改善するか)」